



いちかわみさと

議会だより

第52号

2018年8月1日発行



身延線全通 90 周年（芦川鉄橋）

平成 30 年

6月定例会

● 条例の制定・改正	2
● 平成 30 年度一般会計補正予算	3
● 常任委員会報告	4～5
● 議員定数改正	5
● 組合議会の報告	6～7
● 一般質問 7 議員 町政を問う	8～14
● 討論・審議結果	15
● みんなのページ	16

平成30年度 一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

収入支出の補正額は
補正額 3億5043万円
総額 124億8928万円

収入のおもな内訳



地方交付税 8694万円
国庫支出金 △2975万円
県支出金 132万円
町債(借入金) 2億9110万円

支出のおもな内訳

総務費

若者定住促進住宅補助金追加 1238万円
議場中継システム修繕費追加 175万円

教育費

新施設整備工事費追加 2億4678万円
町民会館浄化槽撤去事業費追加 370万円

民生費

富士見保育所用途変更改修事業費追加 756万円
つむぎの湯自動制御機器更新工事費追加 548万円
介護保険システム改修事業費追加 71万円

土木費

竈鼻川浦線道路整備事業費追加 1951万円

消防費

第11分団消防詰所新築事業費追加 2221万円

農林水産業費

町単農道水路改修事業費追加 900万円



条例の制定2件 条例の改正6件 計画の変更1件

条例の制定 2件

区長及び組長設置に関する条例制定

行政区域の整備のため、区長、組長の設置、職務内容、任期等を定めた。

子ども館設置及び管理に関する条例制定

廃止後の富士見保育所を利用し、放課後児童健全育成事業が継続できるよう、設置管理条例を定めた。

条例の改正 6件

男女共同参画推進条例中改正

入札参加資格審査業務が、町から県に移行され、男女共同参画推進状況報告書の町への提出が不要になったことに伴う改正。

職員給与条例中改正

1級の職務内容を明確にし、4級及び5級に係長の職務関係を加えた。

税条例中改正

・たばこ税において、換算方法、税率の引き上げ、旧3級品に係る経過措置の延長。
・個人町民税の非課税範囲に係る規定の改正。

都市計画税条例中改正

法律の改正に伴い、本条例の一部を改正。

介護保険条例中改正

介護保険法の改正に伴い、サービス事業の人員、設備及び運営等の一部改正。

議会の議員の定数を定める条例中改正

議会改革特別委員会で意見集約の結果、定数16名を2名減の14名とすることに決定。

計画の変更 1件

過疎地域自立促進計画の変更

公共施設、避難場所、観光施設等に新たに公衆無線LAN環境の整備を図るため。



常任委員会報告

質疑の一部を
要旨のみ掲載します

総務教育

開催日
6/5

区長及び組長設置等に関する条例

問 条例制定の目的・必要性は。
石原総務課長 合併以降、旧三珠町の条例により暫定運用してきた。今回、全町的な区長・組長制度の運営条件を整備し、明確化するものである。

問 区長・組長の任期を統一しないのか。
総務課長 現状では、地域により任期が1年または2年がある。合意形成に時間を要するものと想定されることから、任期の統一は考えていない。

「町過疎地域自立促進計画」

問 計画に「公衆無線LAN環境整備事業」が追加されるが、具体的内容は。
一瀬企画課長 公共施設等の人の集まる場所として、町内の小中学校、役場三珠支所・六郷支所のWi-Fi（ワイファイ）環境を整備する。セキュリティ対策も万全を期す。

所有者不明土地

問 対象件数および固定資産税への影響は。
芦沢税務課長 平成22年度以

降発生しており、合計13件。未納固定資産税の累計は45万4200円である。

第11分団消防詰所

問 新築工事および既存施設解体工事のスケジュールは。
立川防災課長 7月に新築工事着工、来年1月完成予定である。解体工事は新施設完成後行う。

町指定文化財補修費補助金

問 現在の指定文化財件数は。
森川生涯学習課長 71件である。

問 説明板の改修などを行う場合の助成手続きは。
生涯学習課長 補助は、所有者等からの申請に基づき行う。町も状態を確認し、必要により補助申請を促すなどの取組みを行っている。

*公衆無線LAN環境整備事業
防災拠点（避難場所、官公庁）などの、災害対応の強化が望まれる公的拠点における公衆無線LAN（Wi-Fi）環境を整備する事業に対し、国が補助する制度

土木環境

開催日
6/11

鳥獣被害対策事業

問 猪・鹿の被害が発生している。対策の状況は。
丹沢農林課長 県の鳥獣コイデイナーターに依頼し、現場での足跡等確認している。現在檻などでの捕獲頭数は増えているが、被害は減少していない。引き続き猟友会と協力していく。

町道笹鼻川浦線整備事業

問 工事関連予算が増額計上されたが、工事進捗状況は。
渡辺まちづくり推進課長 用地取得に進展があった。事業の進捗率は、第3工区の用地取得率は35%。第1工区から第3工区まで全体の進捗率は83%である。

公共下水道事業

問 黒沢地区では市川南小中学校入口までは測量済みだが、今後の工事予定は。

望月生活環境課長 今後地区説明会等を行い、9月以降の工事発注を予定している。

問 市川南小中学校入口付近から品川ファーマーズ周辺までの整備計画は。
生活環境課長 公共下水道整備区域ではなく、合併浄化槽での整備としている。

問 公共下水道整備計画は見直しもあるのか。
生活環境課長 必要により見直しを行う。

歌舞伎文化公園管理事業

問 修繕対象となった設備は何か。
林商工観光課長 夜間照明設備である。

厚生常任

開催日
6/7

こども館設置及び管理に関する条例

問 条例制定の必要性は。

渡辺いきいき健康課長 市川保育所と富士見保育所の統合により、富士見保育所は廃止となる。現施設は、今後「こども館友優」として学童保育専用で使用する。このため設置管理条例が必要となった。
問 富士見保育所内で行ってきた子育て相談機能はどうか。
いきいき健康課長 新保育所の2階で相談事業を行う。

問 新「こども館友優」の運営体制は。
いきいき健康課長 館長はいきいき健康課長、専任職員として2名の指導員を置く。特別の資格は不要だが、保育士、幼稚園教員免許保有者を充てる予定。

問 登録児童数、開所日数は。
いきいき健康課長 現在の登録は、小学1年生から6年生まで合計で19名。開所日は、

平日の放課後、夏休み、冬休み等の年間240日前後。土・日・祭日は休館日となる。

地域包括支援センター

問 構成人員は。
いきいき健康課長 主任ケアマネージャーは4名で、うち主任が1名、社会福祉士1名である。

問 5年ごとの資格更新のための講習費用負担は。
いきいき健康課長 町運営のセンターであり、公費負担である。

つむぎの湯・いきいきセンター

問 つむぎの湯施設の点検方法は。
望月つむぎの湯所長 維持管理を含めた日常的な点検は業者が毎週実施している。制御盤等の点検も年数回行っている。

議員定数16名から 2名減の14名に確定

市川三郷町議会の議員の定数は、16名から2名減の14名が適切であるとの結論に達し、議員の定数を定める条例を改正しました。

次の町議会一般選挙から適用となります。

（9月18日告示、9月23日投開票予定）



組 合 議 会 の 報 告

三郡衛生組合

第1回定例会 3月27日

提出議案は、職員給与条例の一部改正と、平成30年度一般会計、し尿処理事業特別会計、火葬事業特別会計の当初予算の4件で、原案どおり可決されました。

（報告 三神 貞雄）

平成30年度 当初予算 (万円未満は四捨五入)

一般会計	2047 万円
し尿処理特別会計	2 億 5714 万円
火葬事業特別会計	1 億 7987 万円
本町の負担金	5406 万円

峡南広域行政組合

第1回定例会 3月29日

提出議案は、条例改正3件、平成29年度補正予算では一般会計・介護保険特別会計・峡南ふるさと市町村圏特別会計が各1件、平成30年度予算では一般会計・介護保険特別会計・峡南ふるさと市町村圏特別会計が各1件であり、いずれも原案どおり可決されました。

（報告 村松 武人）

平成30年度 当初予算 (万円未満は四捨五入)

一般会計	17 億 659 万円
介護保険特別会計	2 億 1913 万円
ふるさと市町村圏特別会計	1133 万円
本町の負担金	4 億 1277 万円

中巨摩地区広域事務組合

3月定例会 3月29日

提出議案は、条例改正2件。平成29年度補正予算5件、平成30年度一般会計及び特別会計の各当初予算6件の合計13件で、いずれも原案どおり可決されました。

（報告 内田 利明）

平成30年度 当初予算 (万円未満は四捨五入)

一般会計	5087 万円
本町の負担金	358 万円
ゴミ処理特別会計	14 億 894 万円
本町の負担金	8304 万円
地域公園特別会計	894 万円
本町の負担金	68 万円
老人福祉特別会計	2849 万円
本町の負担金	202 万円
勤労青年センター特別会計	4723 万円
本町の負担金	452 万円
し尿処理特別会計	2 億 4864 万円
本町の負担金（本町対象外）	0 円
当初予算合計	17 億 9311 万円
本町の負担金	9384 万円

峡南衛生組合

第1回定例会 3月23日

提出議案は、平成29年度一般会計補正予算及び平成30年度一般会計予算の2議案でいずれも原案どおり可決されました。

第2回臨時会 4月11日

提出された議案は、一般会計補正予算の1件で、原案どおり可決されました。

（報告 宮崎 博巳）

平成30年度 当初予算 (万円未満は四捨五入)

一般会計	5 億 1710 万円
し尿処理事業	9014 万円
ゴミ処理事業	2 億 8616 万円
火葬事業	2045 万円
本町の負担金	4875 万円

峡南医療センター企業団

第1回定例会 3月28日

提出議案は、平成29年度補正予算の3件で、原案どおり可決されました。

平成30年度予算での業務の予定量は、病院事業では病床数248床、年間入院患者数4万5260人、年間外来患者数12万1910人。介護老人保健事業では入所定員170人、通所定員42人、年間入所者数5万8400人、年間通所者数8596人とするものです。

収益的収入および支出では、病院事業で収益39億737万円、費用39億2968万円。介護老人保健施設事業で収益9億1946万円、費用9億3332万円とするものです。

第1回臨時会 5月11日

議長には本町の村松武人議員が、議会運営委員会副委員長に内田利明議員、委員に松野清貴議員が選任されました。

（報告者 内藤 優）

■広域行政事務組合の概要

組 合 名	構 成 自 治 体	主 な 業 務
三郡衛生組合	市川三郷町・南アルプス市・中央市・昭和町・富士川町	・し尿処理業務・火葬場 *対象は、市川・三珠地区
峡南広域行政組合	市川三郷町・富士川町・身延町・南部町・早川町	・老人ホーム・介護・障害認定 ・消防・計算センター
中巨摩地区広域事務組合	市川三郷町・甲斐市・南アルプス市・中央市・昭和町・富士川町	・ゴミ処理 *対象は、市川・三珠地区
峡南衛生組合	市川三郷町・身延町・早川町・南部町（平成30年4月より）	・ゴミ処理・し尿処理業務・火葬場 *対象は、六郷地区
山梨県後期高齢者医療広域連合	県下全27市町村	・後期高齢者医療制度運営
峡南医療センター企業団	市川三郷町・富士川町	・病院・介護老人施設

「市川三郷病院」改築計画の策定状況は

一瀬 正議員

—— 具体的計画の策定までは至っていない ——

問 峡南医療センター企業団市川三郷病院の改築に向けた、建設地・工事時期・建設費等の具体的な計画策定への取り組み状況は。

ある富士川町との協議を進めていく。

町長 現時点では具体的な内容への言及ができる段階には至っていない。建設地は、現市川三郷病院敷地内と想定している。企業団の「峡南医療センター新改革プラン（平成29年度～32年度）」では、市川三郷病院は施設の老朽化により建替える」と明記されているが、前提となる富士川病院との機能分化、規模の適正化などの条件整理がされていない。今後さらに企業団の構成町で

問 本町の医療・福祉・教育・住宅等の町民に身近な制度は、県内で最も充実している。人口増加策の取組みとして対外的なPRを強化してはどうか。

問 人口増加策としての「若者定住促進住宅補助金」制度の活用状況は。

問 危険な家屋を行政の責任で取り壊すことができる条例の制定が必要と考えるが。

問 統合により新設される高校の名称は、「市川高校」となる様要望すべきでは。

町長 「空き家対策協議会」を現在発足準備中である。今後協議会で対策を協議し、緊急対応を要する空き家への行政対応を可能とする条例の制定に向けて取り組む。

町長 「空き家対策協議会」を現在発足準備中である。今後協議会で対策を協議し、緊急対応を要する空き家への行政対応を可能とする条例の制定に向けて取り組む。

問 土手の草刈り後の草の処分がされていない。粉塵被害への対策を。

町長 国土交通省で管理する河川については、5月と10月に除草作業がされている。除草作業後の粉塵被害について早急に調査し、国土交通省に対策を求める。



町長 現在、町ホームページへの情報掲載などのインターネット環境を通じた発信に努めている。また、首都圏での移住セミナーや県人会等の機会を活用し、町紹介資料配布などを行っている。今後は、発信力の強化に努める。

問 防災訓練の取り組みに、地域によりバラツキがある。解消にむけての方策と指導についてどのように推進してきたのか。

町長 区長会議で高齢のために防災訓練が実施できない組があるとの質問があった。町民からの依頼を受けて、通年開催が可能な防災ミニ講座などのメニュー等を伝えた。今後も粘り強く、訓練への参加を要請する。

問 妊産婦に対し、母子保健担当者や分娩可能医療機関、看護師等でつくる検討委員会は今回開催されたのか。病院、保健師、消防署等、関係する救護班との連携のあり方については協議されてきたのか。

身近な医療機関との連携のあり方を検討していく。

把握はされている。医療を要する子どもについては、保健所や庁内関係課と連携し、災害時支援プランの作成を進めている。

問 妊産婦及び乳幼児を守るための当事者及び家族に対する災害対策ガイドラインは作成してあるのか。

町長 現在、母子手帳発行時の教室や母親学級にて、県が作成したリーフレットや妊産婦に特化した内容の物を配布している。町独自のガイドラインについては、今後作成を考えている。

町長 本町においては、分娩可能な医療機関を交えた検討会は実施していない。今年度、災害時医療救護所検討会の準備会を発足した。救護全般の課題として

町長 現在、町内だけでなく、峡南地区には分娩可能な医療機関はない。受け入れには広域的な対応が必要であり、県や消防署と連携し搬送を行う予定。大規模災害において、県や近隣市町村とも連携について検討していく。

大規模災害時に 妊産婦や乳幼児の支援対策は

高尾 貫 議員

—— ガイドラインの作成を考えている ——



●防災訓練

問 乳幼児も健康状態によつては搬送が必要になってくる。災害時どのような対策をしていくのか。

町長 乳幼児について、台帳や母子保健カードによる

土砂災害の防災、減災対策は

笠井雄一 議員

——地域の判断で早めに避難が大切——

問 本町の数多くある土砂災害危険箇所を防災・減災上どのように捉え、住民にどのように周知しているか。

町長 地域において、常日頃からその地域の特性や地形、過去の災害の歴史を語り継ぐ事が重要であり共有する事が肝要である。

地域の判断で早めに安全な場所に立ち退き避難する事が大切である。

周知については、平成21年3月に洪水ハザードマップを作成し各世帯に配布済みである。21年度から土砂災害防止月間にあわせ、避難訓練を実施している。洪水ハザードマップについては今年度更新し、全戸配布する予定である。

問 災害時要配慮者の避難方法はどのように考えているのか。

町長 災害から避難するために必要なことを過去の災害から学ぶと、まず「自助」そして「共助」であると考えている。阪神淡路大震災において、倒壊した家屋等から救出された方の95%以上が、「自助」「共助」によるものと言われており、地域での助け合いや、自主防災会の充実が災害時の要と考

に周知に努力していく。事前の災害予想が可能である場合もあるので、早めの避難行動を呼びかけ、自主防災会等の協同や、消防団の協力を得て、安全な避難に取り組んでいく。

問 町内の急傾斜地、土石流出、地滑りの危険区域は、県又は国の指定を受けているのか。

塩沢土木整備課長 353の土砂災害警戒区域と、そのうち特別警戒区域245あり、土砂災害防止法の中で県が指定し、告示されている状況である。



●土砂災害訓練（下大鳥居）

問 行政、地域、住民が丸となり防災対策に取り組むを進める計画か。

町長 自助として家具の固定化や食糧等の備蓄、共助については、自主防災組織、隣近所や向こう三軒両隣の助け合いなどの啓発を今後もくり返し努めていく。

問 本町でも、防災連絡協議会を設置し、防災リーダーが中心となり、自主防災会、社会福祉協議会、民生委員らで構成し、交換会、防災訓練を実施の考えは。

町長 町では県主催の甲斐の国、防災リーダー養成講座を修了した方々が構成する「減災いちかわみさと」の任意団体が、月一回の情報交換等を行っており、防災講座と併せて、県、国が持っている映像を、防災教育訓練に役立てたい。

問 家庭用防災マニュアルの全世帯へ配布の予定は。

町長 何より自助の防災意識を高めていただくことが、全ての第一歩と考えており、配布方法も含めて現在検討中である。

問 ハザードマップの改訂版の作成の必要性は。

町長 国交省において富士川（釜無川を含む）、笛吹川、県の芦川等における洪水浸水想定区域が改訂され、必要となったため。平成31年2月末までの実施を目指し、各世帯、公民館へ配布、ホームページでの公表など検討していく。

問 市川大門中央通りは、現在車両の通行量が減った割には、逆走車が増えて来ており、道路標識の明確な表示、一方通行の時間帯を路上に明記できないか。

町長 所轄警察署への照会、設置をお願いしていく。

地域防災力強化に向けての取り組みは

丹澤 孝 議員

——映像を使った防災教育、啓発に努める——



●市川大門 中央通り

急傾斜地崩壊危険箇所などへの対策は

小川好一 議員

——危険箇所を把握し県と協議し取り組む——



問 地すべり危険箇所の現状と今後の対策は。

町長 対策箇所4箇所全において、対策工事が完了している。

問 地すべり兆候箇所の把握に努め県・関係機関と協議・調整を図り取り組んでいく。

問 複数の児童・生徒による登下校の確認や、通学路危険箇所を再度検証しては。

町長 下校時に一人で歩く距離の把握や通学路危険箇所のチェック、安全教室、防犯教室での周知など、再確認を徹底している。

問 児童の登下校時の安全確保策として、通学路に防犯カメラの設置が必要と考える。設置の予定は。

町長 管内小中学校10校の各通学路の路線数も多く、カメラの撮影範囲、防犯カ



●防犯カメラ

メラシステムの価格など、検討した結果、設置困難と判断した。

問 児童・生徒の安全確保のため、通学路に防犯灯の設置を検討できないか。

町長 防犯灯設置については、町内設置状況を基に設置している。通学路についても現地の状況を確認し、関係機関と設置に向けて協議していく。

町長 対象箇所110箇所、対策着手箇所は20箇所である。

問 今後の対策計画は、県と協議・調整を図り、計画的に取り組む。

問 高校再編整備による新設校への通学で、JR身延線を利用する生徒が増えると思われるがその対応は。

町長 JR東海でも、新設高校の開設による、利用者の動向を注視している。

問 JR身延線の富士方面への電車が、鰺沢口駅止まりが多いが今後の対応は。

町長 協議会などを通じて機会あるごとに相談し、引き続き積極的にJR東海に働きかけを行っている。

問 峡南橋附近の朝夕ラッシュの原因となっている町道・岩間久那土線の、未整備と用地買収経過について。

問① 未整備部分の拡幅が進まない原因は。

町長 沿線の方々の全ての同意を得るに至っていないのが、原因だと考える。

問② 中部横断道路の全面開通までには、通行可能となるのか。

町長 現在地権者と協議を重ねており、中部横断道路開通時に向けて、鋭意事業を推進して行く。

高校再編に伴う 生徒の電車通学への影響は

川崎 充 朗 議員

——身延線沿線活性化推進協議会で
対応を更に進めていく——



町長 鰺沢口駅以南の運行増と併せて、運行本数の減少回避に向けて取り組む。

問 六郷地区は現在も高齢化が進み、公共交通に頼るしかないが、鰺沢口以南の今後の対応は。



J R 身延線

問③ 地権者から同意が得られなかった場合の対応は。

町長 現在対象の、土地及び建物関係の方々と、補償協議等を行っており、強制執行については考えていない。

出産祝い金制度の導入と育児用品購入の拡充を

宮崎博巳 議員

——少子化問題として、今後検討していく——

問 子どもを安心して産み、社会全体で支え合う地域づくりは。

答 かった費用の一部を「出産祝い金」として、町で負担することは、今後の検討課題としたい。

問 所有者不明の土地問題の現状と本町の土地管理状況について、次の3点について質問。

②所有者不明の土地はどの位存在し、その把握実態は。

③所有者不明の荒廃した山林・農地・住宅地などは、今後どのように管理していくのか。

町長 人口対策として、策定した総合戦略において、多子世帯子育て支援事業を実施している。支援事業の評価とともに、実施の検討を考えて行く。

問 経済的負担をなくし、元気な赤ちゃんを育てるため、育児用品の品目拡大の考えは。

①荒廃した農地や住宅地など、所有者不明土地の管理する担当課は。

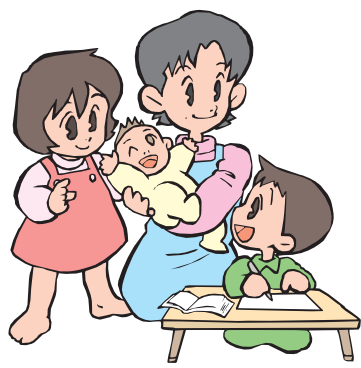
町長 納税通知書が送付できない所有者不明18件、所有者を特定するための戸籍を調査中が、5件となっている。

町長 荒廃した土地の苦情などは、土地台帳に記載のある所有者に書面と口頭で直接指導している。過去5年間で荒廃地に係る苦情の内、所有者不明の土地は存在していない。

問 出産一時金のほか、かった費用の一部を「出産祝い金」として、町で負担する考えは。

いきいき健康課長 他市町村においても様々な要件を付けているところ、金額も様々であり、検討していきたい。

町長 土地所有者等の管理は、税務課が管理している。荒廃した農地や山林の苦情に関しては、農林課が担当。雑草等の処理、ゴミの投棄など環境面、衛生面の対応が必要な時は、生活環境課が担当。



渡邊いきいき健康課長 出産一時金42万円のほか、か

討論

れ、審議への影響が心配される。議席が減ると議員との距離が遠くなる。

◆議会の議員定数を定める条例中改正

（賛成）市川 朝嗣議員 町村議会の議員定数は近隣市町村を見ても減少傾向にある。議会特別委員会の中でも多様な民意を反映するためには定数減には、慎重な意見が出された。議員一人ひとりが住民全体の代表者としての意識を強く

し、自己研鑽に励みながら取り組めば、住民の代表機関としての議会運営、常任委員会運営に支障はないと考える。

賛成12 反対3

人事

人権擁護委員

網倉 きぬ子 氏

（葛籠沢）

農業委員会委員

青木達雄氏 池川良一人氏 一ノ瀬文彦氏 井上直邦氏 遠藤直氏 長田成氏 杉山成氏

丹澤忠行氏 樋口正治氏 水野哲夫氏 望月信彦氏 望月洋邦氏 渡邊重光氏 渡邊千雪氏

審議結果 第2回定例会（6月4日～15日）

承認（6件）	結 果
税条例中改正の専決処分につき承認を求めることについて	承認・全会一致
都市計画税条例中改正の専決処分につき承認を求めることについて	承認・全会一致
国民健康保険税条例中改正の専決処分につき承認を求めることについて	承認・全会一致
平成29年度一般会計補正予算（第11号）の専決処分につき承認を求めることについて	承認・全会一致
平成29年度介護保険特別会計補正予算（第6号）の専決処分につき承認を求めることについて	承認・全会一致
平成30年度一般会計補正予算（第1号）の専決処分につき承認を求めることについて	承認・全会一致
条例の制定・一部改正（8件）	結 果
区長及び組長設置に関する条例制定について	可決・全会一致
子ども館設置及び管理に関する条例制定について	可決・全会一致
男女共同参画推進条例中改正について	可決・全会一致
職員給与条例中改正について	可決・全会一致
税条例中改正について	可決・全会一致
都市計画税条例中改正について	可決・全会一致
介護保険条例等中改正について	可決・全会一致
議会の議員の定数を定める条例中改正	可決・賛成多数
補正予算（10件） 一般会計・特別会計	結 果
平成30年度一般会計補正予算（第2号）	可決・全会一致
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決・全会一致
平成30年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決・全会一致
平成30年度訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算（第1号）	可決・全会一致
平成30年度簡易水道特別会計補正予算（第1号）	可決・全会一致
平成30年度公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決・全会一致
平成30年度歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算（第1号）	可決・全会一致
平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決・全会一致
平成30年度一般会計補正予算（第3号）	可決・賛成多数
平成30年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決・全会一致
その他議案（8件）	結 果
過疎地域自立促進計画の変更について	可決・全会一致
新施設電気設備工事請負契約の締結について	可決・全会一致
新施設機械設備工事請負契約の締結について	可決・全会一致
新施設舞台設備工事請負契約の締結について	可決・全会一致
農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることにつき同意を求めることについて	同意・全会一致
農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意・全会一致
太陽光発電設備の立地規制等に係る法整備等を求める意見書について	可決・全会一致
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任・全会一致

議会傍聴におでかけください

次回定例会は9月に予定されています。

傍聴の定員 本会議 30人 委員会 8人

◆3月定例会の傍聴実績（のべ人数）

本会議 16人 委員会 3人

◆会議録検索システム利用件数

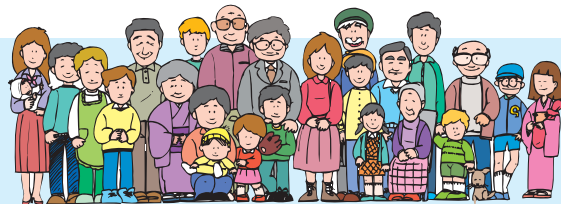
平成30年1月から6月まで 2,115件

*町のホームページから議会本会議の会議録の閲覧ができます。検索機能もあり便利です。ぜひご利用ください。

◆お問い合わせ

議会事務局 TEL 055-272-1108

みんなのページ



三珠野球スポーツ少年団

三珠野球スポーツ少年団は表門の森に囲まれた素晴らしい環境のもと、上野小学校のグラウンドを拠点に上野小・大塚小の児童（6年生4名、5年生6名、4年生3名、3年生4名）総勢17名で日々練習に励んでいます。

少年野球を通じ団体行動をすることで相手を思いやる気持ちや自主性を持つ事をモットーに活動しており、「チーム」一丸となって負けた悔しさ、勝った喜びを育んでいます。

子どもたちの心が豊かに大きく、強くなる様に指導しています。



- 入団対象：小学1年生から6年生
- 活動日時：通常練習
毎週土・日曜日
(8:30～16:00)
ナイター練習
毎週火・木曜日
(18:30～21:00)
※ナイター練習は希望者のみ
- 活動場所：上野小学校グラウンド
- 団員を随時募集していますので少しでも野球に興味をお持ちの方は、お気軽に練習の様子を見にきてください。

編集後記

今年、明治151年。明治となる少し前の1860年（万延元年）に、初めての遣米使節団に市川代官所典医の広瀬保庵が加わり、世界一周しています。6月に県立博物館で開かれた「山梨の明治」展では、広瀬保庵が著した旅の行程を記述した「世界地図」と「航路日記」が展示されました。この様な貴重な功績を財産として、「代官所が置かれた町」という歴史を発信できれば・・・と思います。

さて、現委員構成での編集も本号で区切りとなります。不慣れた編集作業のため、至らぬ点多くあったものと思いますが、ご容赦いただければ幸いです。

（記 丹澤）

議会広報編集特別委員会

委員長
副委員長
委員

高尾 貫
佐野 孝一
小川 好朗
丹澤 充嗣
市川 朝嗣